

頭書  
調寶  
數條

百性往來書集藏

種藝熟術苑訓書

農民日用王文運





再甄百  
煙煙來  
豐年藏

仁徳天皇十七代仁徳天皇御宇  
 高津郡都府に於て大嘗會  
 大嘗會の御宇に於て  
 推郎子と臣身の御同席位と儀  
 合ひ給ふと云ふ事あり  
 冠を賜ふ事あり  
 素より仁徳の帝あり  
 万民の食を若くは年出らば三年の  
 あつた民の課税をゆるぎ給ひ  
 多れた新に織らば其徳天皇御宇  
 公風を財にまわし又穀を儲めて  
 士民百姓を教ひて貢納せしむは  
 獻るる事ありて高き事あり  
 多し民家以煙草を以て取給ふ事

丸味文庫

高き事あり  
 やりてこれ  
 煙草を以て  
 民の富と  
 賑ひふり



百生生来



# 孝

親は孝行をまきまると  
 志を以て今日を以てハ  
 志を以て今日を以てハ  
 志を以て今日を以てハ  
 志を以て今日を以てハ  
 志を以て今日を以てハ

# 弟

年々歳々入つてゆく  
 ひふの日はとらふ  
 とらふ日はとらふ  
 とらふ日はとらふ  
 とらふ日はとらふ  
 とらふ日はとらふ

# 忠

忠義のあつた  
 忠義のあつた  
 忠義のあつた  
 忠義のあつた  
 忠義のあつた  
 忠義のあつた

# 信

信義のあつた  
 信義のあつた  
 信義のあつた  
 信義のあつた  
 信義のあつた  
 信義のあつた

百生主来







世帯  
道具  
字畫

鍋釜竈  
曲突煙  
罐子藥  
罐水瓶  
水桶

百姓從來

凡百姓取扱文字

農業耕作之道具

耆先鋤耨鎌犁馬

把耨竹把失把覓

箇擔桶秤秤貴

持筭約板鋤簾木

樹杵撐橈圓杭連架

蒲笠指扱確確春晒

從磨杵轆造木泥障



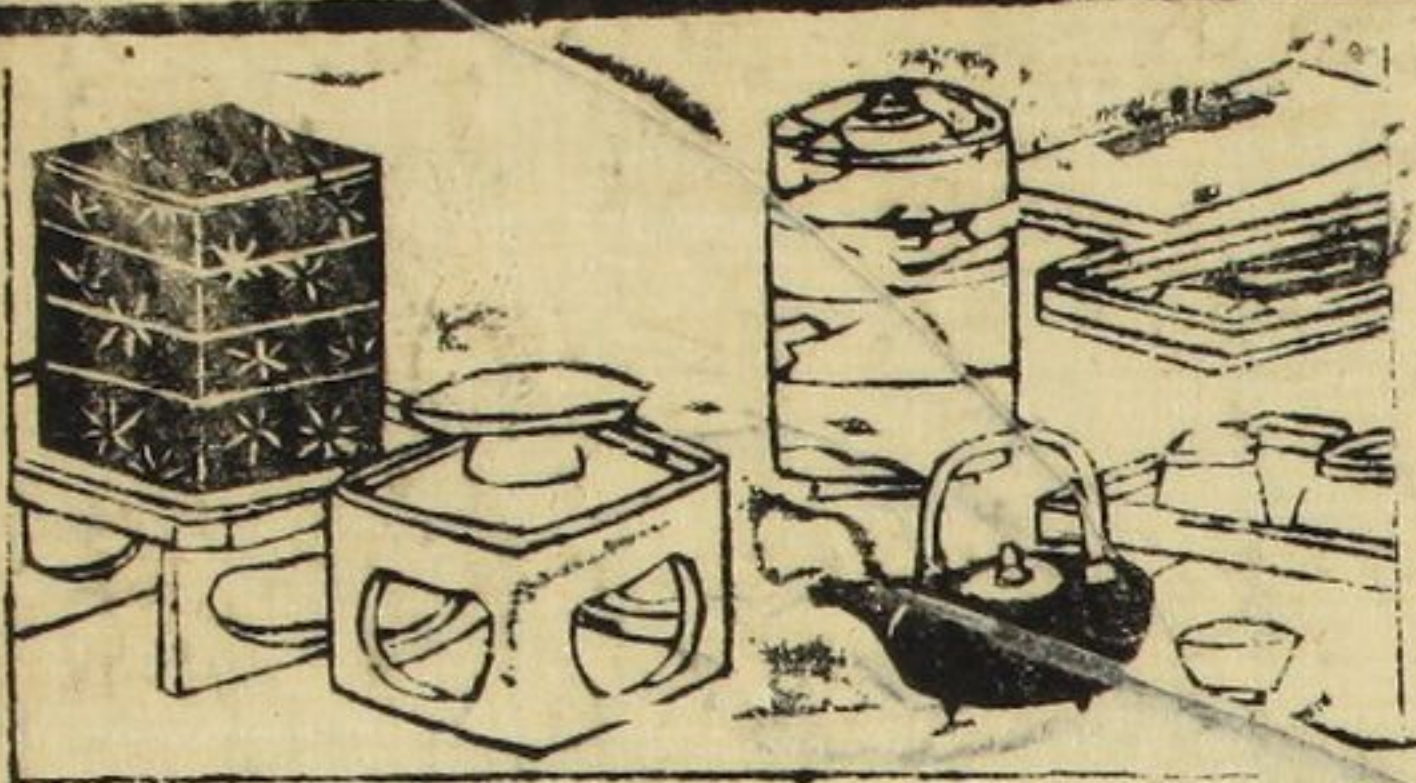
約瓶櫃 鉅櫃本 鉅板生 陰箸危 丁房及 出及榮 伐山薑 標荒碧 潦水囊 十能七 覽焙籠 炭消火 赤箱附 木箱燈 油土釜 味增摺 半剪鹽 又他鉄

箕敷簾 給後圓簾 板簾竹 筋五石筋帶 栝標厨 桶筒車 藝車 站貴車 簾卷簾 羅籠 石筋華 漆澤標 寫之加 修理破損 每日田畑と 見廻指 込貯要也 扱又 新田開 發地平均 在海 沖換地 入持 多心 宜也 繩 上清心 盛家 承厚 付去

巨生在来



橋火箸 火吹竹 膳梳折 爨盆 評平皿 猪口茶 碗砂鉢 茶釜茶 臺飯次



飯匙貝 換子柄 拘箸徳 利炯徳

地之上中下町及畝  
 迫地焚田本落日向日廣  
 校長繩甲乙系市空亮  
 考考考地益壽水損  
 早換之為志比酒井

河前地築算理極  
 八七子堰斷美板相  
 欄と一頁海見帳  
 在村方地入と系  
 考考肥々下箇馬養其心



子入子  
 重箱食  
 窠提重  
 高杯蝶  
 足猫足  
 掛盤盞  
 卷盞八

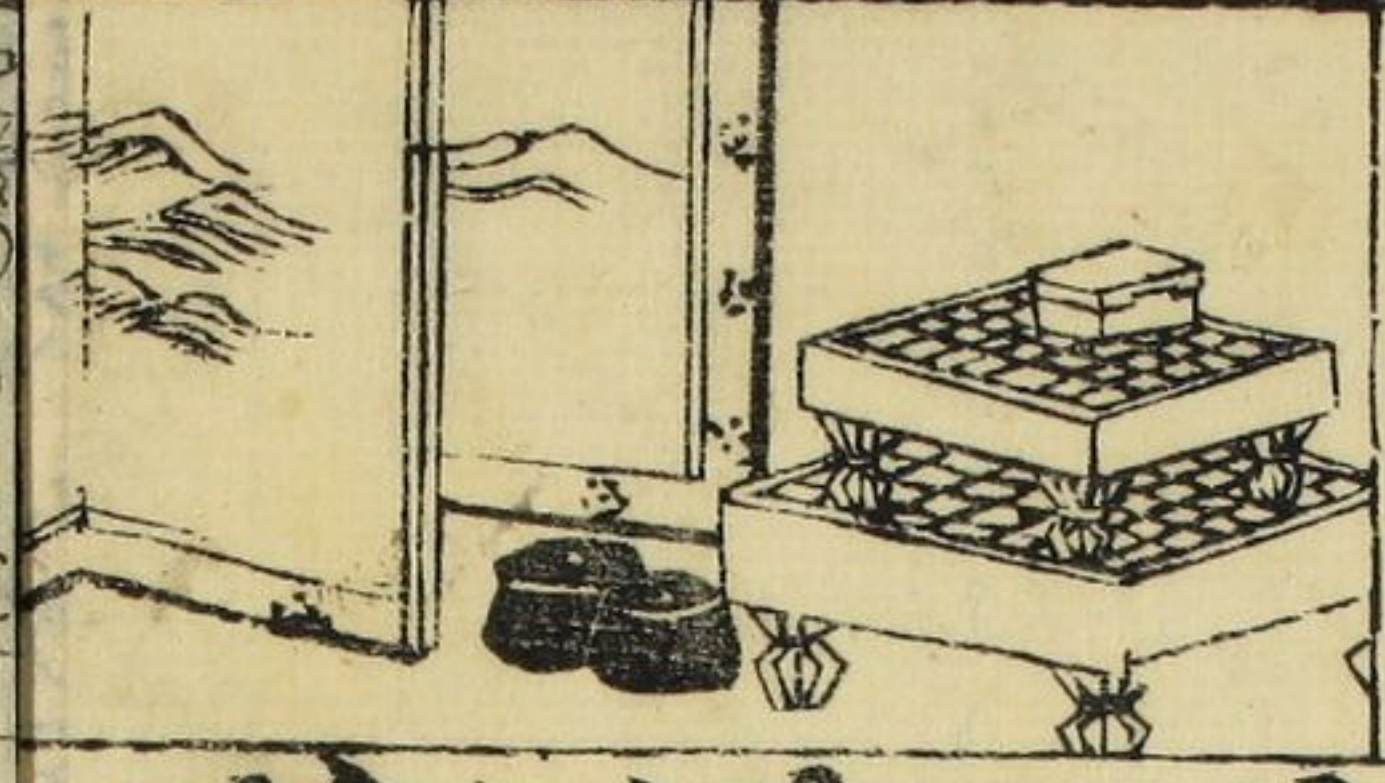
寸燕窩  
 煙草盞  
 烟管火  
 入天吹  
 子煖湯  
 藥火藥  
 盤桐盤  
 香爐香  
 魁番箱

踏草干  
 縮魚腸  
 煎膏  
 麻子  
 煎糖  
 油絞  
 煎菜  
 灰管  
 煎中  
 米志  
 煎牙  
 出  
 摘田  
 荷付  
 南代  
 案山  
 字鳴  
 子  
 以  
 後  
 水  
 成  
 乃  
 以  
 指  
 湯

梅方  
 早魁  
 面  
 已  
 温  
 麦  
 系  
 以  
 骨  
 也  
 珠  
 音  
 振  
 是  
 又  
 劫  
 每  
 身  
 西  
 所  
 指  
 是  
 以  
 信  
 平  
 煎  
 田  
 湯  
 多  
 札  
 无  
 梅  
 合  
 天  
 附  
 香  
 箱  
 遠  
 法



石 硯 蓋 石  
梳 井 鉢  
匣 文 箱



料 樂 箱  
硯 信 函  
滴 墨 臺  
筆 架 硯  
屏 文 鎮  
削 筆 車  
机 文 臺  
眼 息 屏  
風 衝 立

直 貢 心 采 亦 玉 香  
碎 心 采 之 換 遠 吟 味  
采 身 採 亦 采 玉 香  
純 儀 念 御 義 酒 津 出  
湯 采 別 采 進 采 採

心 采 亦 采 亦 采 亦 采  
心 采 亦 采 亦 采 亦 采  
心 采 亦 采 亦 采 亦 采  
心 采 亦 采 亦 采 亦 采  
心 采 亦 采 亦 采 亦 采  
心 采 亦 采 亦 采 亦 采  
心 采 亦 采 亦 采 亦 采  
心 采 亦 采 亦 采 亦 采



衣柳基 局臺子 碁臺罰 碁臺盤 弱費六 盤筒子 賽手燭 燭臺行 燈挑灯  
 油指筆 筒長持 徒箱小 袖捲葛 花骨折 夜去蒲 老枕蠶 麻老衾 忌賊字畫

穽之刺者冲刃母指支様  
 三指之但指乃係送送何  
 物率領中後之乃指能  
 川渡場後還大道掃  
 徐他村人云之境我率之

働をさる可お儀也  
 荷物之負用も馬之  
 上系掛式拾貫怪尻  
 入貫月法為之指空月  
 何也すわる用於之

百肆生来



一代の守 幸子

勢至菩薩

索婆訶

離中新

午卯年 八月

千手觀音

阿盧力

坎中連

子卯年 十七日

大日如来

阿尾羅

坤皆新

未申年 八月

之氣なり多病を挺き六

人空駕鶴一挺は金

分持き今去る貴國也

長持世自中書省也

その不らしらふん

とて結合の事法天

法也平生重御

公儀様沙領私領を

敬法代官之願を身之

分法成家之造作不



虚空藏井

觀阿利迦摩黎

暮離娑婆訶

三 艮上連

丑寅年 十月五日

不動明王

曩莫三曼多  
縛日羅赦

三 兌上斷

酉戌年 十月八日

文殊菩薩

唵阿羅跋

者娜

三 震下連

卯辰年 十月九日

播彌陀如來

唵阿蜜囉吽

帝際賀囉吽

三 乾比自連

戌亥年 十月十日

用釘織拍皆在空

振空大空繼繼

上牙牙貴子挽屋根

牙牙牙迫門門增增

軍軍軍軍軍軍軍軍

憲鴉柄鴨店戶障

古揚と角敷拍と空元建蒲

席籍業業籍籍

節の依法表減者

服本絲織乃之挽車唐



晋賢菩薩

三摩野

三 娶下新

辰巳年 西多日 九月四

世中 七 教歌



弓同法系生防種系是

鯛拵綜杭袋同櫃枵管

子機下核名空々糧志

是種唐米麦挽割拵米

粉割陳倉米と扱器搥

搥精込分大切儀糧仕

と魚創饅多良湯扱と

の身可葉菓子と麦及焦

梅米と心と柄合者合

餅或は純式若者切太



ほくぐとほ世の  
中とサ人 丑六  
ましらまら  
ぬきまら

えきまても  
うた ぶくも  
よの ぶく  
まら ぶく  
まら ぶく

はれま ぶく  
いほ ぶく  
まら ぶく  
まら ぶく

何もしつれま  
けふひのうや  
こころま  
いふあうれ

後山  
のまらまら  
まらまら  
まらまら

人の  
まらまら  
まらまら  
まらまら

まらまら  
まらまら  
まらまら  
まらまら

池沼の魚を採るに聖

茶の醸し酒を呑む

野蕪の隙を採るに

糸搔き履草鞋代也

草藁葉稗穀指樹芽

古くは指の底に苦菜

為秣場を指すを列也

牛馬之飼料に糞を用

扱亦牛を馬房に

之文字は牛馬を撰之



十干十二支  
之文字

甲 乙

丙 丁

戊 己

庚 辛

壬 癸

子 丑

寅 卯

辰 巳

午 未

申 酉

戌 亥

之文如字之物又稱之文

犢馬名馬丁又約之文

文雅之聲多文端也

書賞之名負名所古也

古戰場古墳名海濱海

河碓江合江流漢津漢

垣也新川也名劇舟也

都也南古江之別也其

道之辨知彼也切山林

竹木不掠也地不隱也



百物集

田畑同敷の  
名乃変

一町俵一六千石

四方

一回

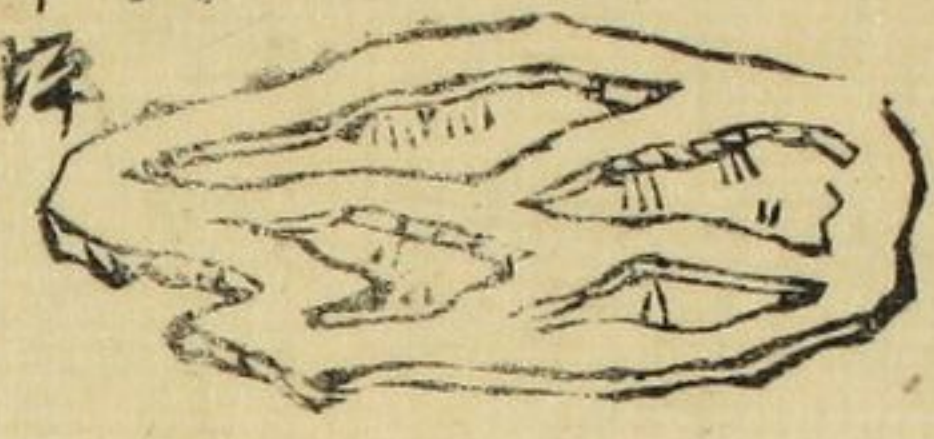
六尺

六尺

三

二百千俵

今更三百俵多



二畝二千歩といふ

二千歩無俵といふ

二歩一俵といふ

|    |       |
|----|-------|
| 一坪 | 六尺五寸四 |
| 一分 | 六尺五寸  |
| 一分 | 六分五厘  |
| 一厘 | 六分五厘  |
| 一毫 | 六分五厘  |
| 一絲 | 六分五厘  |
| 一忽 | 六分五厘  |
| 一微 | 六厘五毫  |

心身に三軍を統率す  
 永成富貴を授け給ふ家門  
 平生佛神に心を盡す  
 不可有疑信も如件

撰者 浪花 虎篋子再訂

|   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|
| 三 | い | れ | い | は |
| 俵 | 口 | 骨 | 礼 | は |
| 波 | ハ | ツ | レ | コ |
| 二 | に | つ | コ | コ |
| 保 | ほ | 子 | コ | コ |
| 遠 | へ | 奈 | コ | コ |
| 止 | と | ら | コ | コ |
| 知 | ち | 武 | コ | コ |
| 利 | り | 宇 | コ | コ |
| 又 | ぬ | 井 | コ | コ |
| 留 | る | 乃 | コ | コ |
| 遠 | を | 乃 | コ | コ |
| 和 | わ | 乃 | コ | コ |
| 加 | か | 乃 | コ | コ |
| 与 | よ | 乃 | コ | コ |
| ち | た | 乃 | コ | コ |

新撰 續百姓往来  
 名數往来  
 出来

原板明和三年丙戌春發行。再板寛政九年丁巳正月  
 天保十一年子八月再板

東都書肆 錦森堂 馬喰町三丁目 森屋治兵衛板元



